

- 問1 参議院議員の選挙において、3年ごとに定数の半分ずつを選び直す目的として、最も適切なものはどれですか。（2019年 高知県公立入試 類似）
1. 衆議院と同じタイミングで選挙を行うため
 2. すべての議員を一度に入れ替えて政治を安定させるため
 3. 長い期間をかけてじっくりと議論を行うため
 4. 選挙の回数をできるだけ減らすため
- 問2 各政党の得票数に応じて議席を配分する「比例代表制」の特徴として、小選挙区制と比較した際の説明として最も適切なものはどれか。（2018年 熊本県公立入試 類似）
1. 候補者と有権者の結びつきが非常に強くなる
 2. 二大政党制になりやすく、政権の安定が図りやすい
 3. 特定の有力な政治家が、個人の人気だけで当選しやすい
 4. 死票が少なく、少数派の意見が議席に反映されやすい
- 問3 日本の選挙制度において、各選挙区の議員1人あたりの有権者数に大きな開きが生じる「一票の格差」が問題となっています。この格差を是正し、国民一人ひとりが持つ一票の価値を平等に近づけるために、隣接する選挙区を一つに統合するなどの措置が取られることがあります。この措置を何と呼びますか。また、この是正が求められる憲法上の主な根拠として最も適切な組み合わせを選びなさい。（2017年 広島県公立入試 類似）
1. 「比例代表制」を導入し、日本国憲法が定める「参政権の制限」を緩和するため
 2. 「合区」を行い、日本国憲法が定める「法の下での平等」を保障するため
 3. 「定数は正」を行い、日本国憲法が定める「地方自治の本旨」を確立するため
 4. 「区割り変更」を行い、日本国憲法が定める「生存権」を確保するため
- 問4 議会政治における「連立内閣」が組織される主な目的や仕組みについて説明したものととして、最も適切なものはどれですか。（2025年 島根県公立入試 類似）
1. 衆議院と参議院の議員定数を等しくし、選挙にかかる費用を削減するため。
 2. 野党が第一党となった場合に、行政権を裁判所に委任して政治の混乱を防ぐため。
 3. 特定の政党が独裁的な権力を持たないよう、必ず3つ以上の政党で内閣を構成するため。
 4. 議席の過半数を確保することで、予算案や法律案を成立させやすくし、政権を安定させるため。
- 問5 日本の選挙において、ある選挙区では議員1人あたりの有権者数が約20万人であるのに対し、別の選挙区では約40万人となっている統計資料があります。このように、選挙区ごとの有権者数の違いによって、投票が持つ価値に不平等が生じている状態を何といいますか。（2023年 北海道公立入試 類似）
1. 一票の格差
 2. 普通選挙
 3. 定数は正
 4. 比例代表制
- 問6 現代社会において、テレビやインターネットなどの多種多様なメディアから得られる大量の情報やフェイクニュースに対し、その真偽や偏りを見極めて批判的に読み解く能力を何といいますか。（2022年 宮崎県公立入試 類似）
1. メディア・リテラシー
 2. デジタル・デバйд
 3. 情報バリアフリー
 4. プライバシー権
- 問7 衆議院議員選挙において、小選挙区制と比較した際の比例代表制の利点として、最も適切な説明はどれですか。（2018年 千葉県公立入試 類似）
1. 有権者が候補者個人の資質や実績を直接判断して投票しやすい。
 2. 二大政党制になりやすく、政権が安定しやすくなる。
 3. 死票（当選に結びつかなかった票）が少なくなり、少数意見が政治に反映されやすくなる。
 4. 選挙区が小さいため、候補者と有権者の距離が近くなり、地域の要望を伝えやすい。
- 問8 2016年に施行された改正公職選挙法では、若者がより早い段階から政治に参加し、社会の担い手としての意識を持つことを目的として、選挙権を得られる年齢が変更されました。この改正によって定められた、現在の日本における選挙権年齢の基準として正しいものを選びなさい。（2020年 新潟県公立入試 類似）
1. 満25歳以上
 2. 満16歳以上
 3. 満18歳以上
 4. 満20歳以上
- 問9 選挙制度の性質を、「議会の決断のしやすさ」と「民意の反映のしやすさ」という2つの軸で分類したとき、小選挙区制が持つ一般的な傾向を説明したものととして適切なものはどれですか。（2022年 埼玉県公立入試 類似）
1. 幅広い層の意見を議席に結びつけやすいため多様な民意が反映される一方で、小政党が乱立して物事が決まりにくくなる。
 2. 少数意見を排除せずに反映できるため死票が極めて少なくなるが、政権が頻繁に交代し不安定になる。
 3. 1つの選挙区から複数の当選者を出すため、個別の政策よりも候補者の知名度などの人間性が重視される傾向にある。
 4. 議会での意思決定がスムーズになり政権が安定する一方で、当選者以外に投じられた死票が多くなり、民意が正確に反映されにくい。
- 問10 公職選挙法が改正され、選挙権を持つ年齢が引き下げられた主な目的として、最も適切な説明はどれですか。（2018年 奈良県公立入試 類似）
1. 選挙管理委員会の業務を簡略化し、住民基本台帳との照合を容易にするため
 2. 満18歳になれば、保護者の同意なくあらゆる契約を自由に行えるように法を統一するため
 3. 少子高齢化の影響で、高齢者の投票権を制限して世代間のバランスを取るため
 4. 若い世代が社会の課題を自らの問題として捉え、政治に主体的に関わることを促すため
- 問11 日本の衆議院議員小選挙区において、ある選挙区の議員1人あたりの有権者数が約48万人であるのに対し、別の選挙区では約23万人となっている状況があります。このような、地域によって有権者1人が持つ票の影響力に差が生じている問題について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2022年 千葉県公立入試 類似）
1. 有権者数が多い選挙区ほど一票の重み小さくなるため、法の下での平等に反する可能性があるとする
 2. 小選挙区で落選した候補者が比例代表で復活当選する仕組みにより、有権者の意思が歪められることを指す
 3. 人口が少ない地域の意見を保護するために、意図的に一票の価値を高めるよう憲法で定められた仕組みである
 4. 得票が議席に結びつかない「死票」が大量に発生することを指し、二大政党制を阻害する要因とされる
- 問12 ある選挙区において、4123票を獲得した候補者が当選し、他の候補者に投じられた計5040票がすべて議席に結びつかなかった事例を想定します。このような事態を改善するために採用される比例代表制の仕組みについて、正しく説明しているものはどれですか。（2022年 熊本県公立入試 類似）
1. 全国を一つの選挙区とすることで、地域による一票の格差を完全になくす
 2. 得票数の最も多い候補者から順に議席を与えることで、個人の人気を直接反映させる
 3. 一定の得票数に達しなかった政党の議席をゼロにすることで、議会内の小政党乱立を防ぐ
 4. 各政党の総得票率に応じて議席を割り当てることで、落選した候補者への票が反映されない現象を抑える